

伊庭内湖周辺におけるホンモロコ遊漁の採捕尾数の推定

亀甲 武志・岡本 晴夫・氏家 宗二

1. 目的

伊庭内湖周辺ではホンモロコの産卵保護を目的としてH24年4月1日～30日、H25、26年4月16日～5月15日の1ヶ月間刺し網などのホンモロコ漁業を禁止する琵琶湖海区漁業調整委員会指示が発出された。しかし、ホンモロコ遊漁に関してはその実態や採捕尾数などは不明であったことから特に規制はかけられていない。そこで、今後のホンモロコ遊漁の管理策を検討する基礎資料とするため、伊庭内湖周辺での遊漁の実態と採捕尾数の推定を試みた。

2. 方法

伊庭内湖周辺での釣りによるホンモロコ採捕尾数の推定は調査日を1次抽出単位、釣獲状況の聞き取り調査を行った遊漁者を2次抽出単位とした2段階抽出による。釣獲率や遊漁者数は時期ごとに変化したので、月ごとに推定した。遊漁者数は、遊漁者の多くが釣りをする午前10時から午後2時に車上から計数し把握した。聞き取り調査では聞き取りを行った段階での釣獲時間と釣獲尾数を聞き取った。投網、たもすくいによる遊漁者数についても同様に計数してから、聞き取りや採捕状況から単位時間あたり採捕尾数を推定した。

3. 結果

H26年3月中旬から5月中旬にかけて遊漁者数の計数と聞き取り調査を行った。そのうち1日間は遊漁者数の日内推移を調査したところ、釣りでは早朝から夕方まで釣りをを行う人が多く、聞き取り調査の結果と合わせて一日あたり平均8時間釣りをすると推定された。同様に投網、たもすくいでは午後から行う人が多く、一日あたり平均4時間行うと推定された。また調査期間中の総遊漁者数は20人か

ら140人で推移し、5月の連休以降は減少した(図1)。たもすくいと投網では4月中旬以降から増加した。各遊漁による採捕尾数の合計は約23万尾と推定され、1尾あたり13.4gとすると約3.1トン採捕されていると推定された(表1)。H24年と比較してH26年では釣りによる採捕尾数は約5分の1に減少した。遊漁全体に占める投網とたもすくいの割合がH24年より増加した。

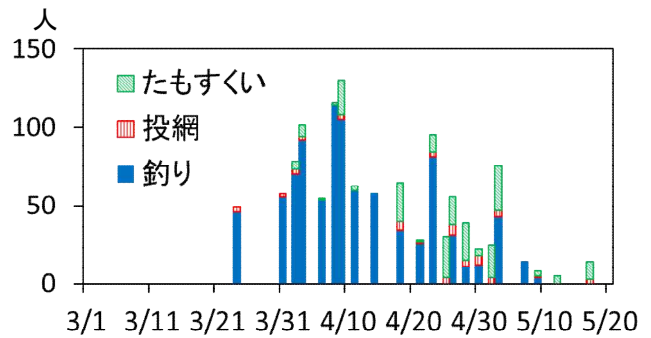


図1 調査期間中の遊漁者数の推移

表1 遊漁によるホンモロコ推定採捕尾数(尾)

釣り	56621
投網	55342
たもすくい	121777
合計	233740